

ホログラフィーは、セキュリティー印刷、光計測、立体像表示、光通信といった様々な分野で産業的に利用されているだけでなく、数々の美しいアート作品として世に送り出されています。東京工業大学百年記念館では、このような魅力的なメディアを多くの方々に知っていただくために、ホログラム常設展示コーナーを設け、また、多くの方から寄贈頂いたホログラムの收藏・ローテーション展示も行っています。本講演会では、「ホログラフィーの歴史と将来」と題し、百年記念館のホログラムコレクションやその他の展示をご紹介しますとともに、日本のホログラフィーを開拓してきた方々のインタビューをもとに、これまでの発展についてお話頂きます。また、今後の展開が期待されるホログラフィーによる超臨場感映像通信やホログラフィック・メモリーの将来展望について第一線の研究者にご講演頂きます。ホログラフィーの専門家だけでなく、幅広い方々にも聞いて頂ける講演会です。また合わせて百年記念館の常設展示と收藏している一部のホログラムの展示も行います。奮ってご参加ください。

■ 日時 2009 年 5 月 29 日 (金) 13:00-17:00

■ 会場 東京工業大学百年記念館 3F フェライト会議室

<http://www.libra.titech.ac.jp/cent/Information/ShisetsuGuide.html>

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 東京工業大学大岡山キャンパス

東急目黒線・大井町線 大岡山駅下車 徒歩 1 分

<http://www.libra.titech.ac.jp/cent/Information/ShisetsuGuide.html>

■ 主催 ホログラフィック・ディスプレイ研究会

((社) 応用物理学会 日本光学会 ホログラフィック・ディスプレイ研究グループ)

■ 後援 東京工業大学百年記念館

■ 協賛 3D 映像のフォーラム

■ テーマ: ホログラフィーの歴史と将来

■ プログラム

13:00-14:00 HODIC 鈴木・岡田賞授賞式、記念講演

選考委員長 岩田藤郎

HODIC 鈴木・岡田賞は、2008 年度にホログラフィー分野で活躍した人またはグループに授与されるものです。

🏆 記念講演

貢献賞 佐藤甲癸 (湘南工大)

技術賞 ホログラム導光板を用いたシースルーメガネ型ディスプレイの開発

吉田卓司、阿久津克之、松村郁夫、中野聡、桑原美詠子、相木一磨、武川洋 (ソニー)

技術奨励賞 水平走査型ホログラフィーにおける共役像除去 岡田直也、高木康博 (農工大)

14:30-17:00 講演会

14:30-15:00 東京工業大学百年記念館の展示とホログラムコレクションの紹介 道家達将 (東工大百年記念館)

15:00-15:30 日本のホログラフィーの開拓者たちーホロ・インタビューからー 三田村峻右 (筑波大学名誉教授)

15:30-15:45 休憩

15:45-16:15 超臨場感コミュニケーションとホログラフィー 奥井誠人 (情報通信研究機構)

16:15-16:45 ホログラムメモリーの将来展望 渡邊健次郎 (豊橋技術科学大学)

16:45-17:00 情報交換コーナー

■ 見学 (休憩時間など)

百年記念館展示室、百年記念館常設展示ホログラム

東京工業大学ホログラムコレクションの一部などの特別展示

■ 参加費: 無料, 資料代: ホログラフィック・ディスプレイ研究会会員は無料 / 非会員 2,000 円 (希望者のみ)

■ 問合せ先

HODIC 事務局 (TEL 03-3367-0571, FAX 03-3368-1519, アドコム・メディア社気付, E-mail: office@hodoc.org)

担当幹事 東京工業大学 像情報工学研究施設 山口雅浩 (guchi@isl.titech.ac.jp)